

目標達成計画

事業所名 グループホーム ほたる

作成日 : 平成 24年 2月 17日

評価結果

市町提出日 : 平成 24年 2月 23日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 | | | | | |
|----------|------|--|---|---|------------|
| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取組み内容 | 目標達成に要する期間 |
| 1 | 11 | 外部評価の項目に対しての自己評価を全職員で55項目、共に検討する事は時間的にも難しく、管理者とケアマネで行っていた。項目の中には職員に分かりにくい所もある。 | 全職員が、項目1つ1つを検討することで、グループホームが何をもとめられているか理解を深める事で、意識を向上させる。 | 月1回、全職員で行うミーティングで1ページずつ説明しながら、理解してもらう。話し合いの中で、今後の取り組みなどの意見を出し合いながら、施設運営の向上につなげる。 | 10 か月 |
| 2 | 26 | モニタリングはサービス計画書の更新の時に行っていたが、毎日の生活の中で発生してくる、細かなサービスの変更をどのようにサービス計画書に反映させていくか。 | モニタリングを毎月行い、本人の状態に即したサービスを提供できるようにする | 毎月のミーティングで利用者一人ずつの状態の変化は検討しているが、今後は介護計画書のサービス内容を職員に渡して職員と共に介護計画を作っていく。 | 3 か月 |
| 3 | 35 | 災害対策は、運営推進会でもテーマにして自治会長からも意見を頂いているが、避難訓練に地域住民の方に来て頂く事はなかなか難しい。 | 自治会長始め、民生委員さん、池田町の自主防災の方などに防災訓練に参加して頂き、利用者が安全に避難できる方法を検討する。 | 自治会長、民生委員を通じて地域住民の方に避難訓練の協力をして頂けるようお願いする。地域住民と共に利用者を避難地まで避難誘導をする。階段を上れない利用者を毛布など使って運ぶ訓練も行う。 | 6 か月 |
| 4 | | | | | か月 |
| 5 | | | | | か月 |

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。